

# 1. 第3回整備検討委員会での意見及び回答

令和6年1月30日開催

## ■ 図書館整備について

### 【町長あいさつ】

- 現体育館は、既に50年が経過し耐震性が無いことから、図書館より優先して進めるべきと判断した。結果として、図書館整備については先送りせざるを得ないと考えている。
- 当面のハード整備は難しいが、ソフト面として学校図書室との連携など、多くの町民に図書を親しんでいただき、今後の図書振興につながるものと考えていきたい。

### 【委員からの意見】

- ① 図書館先送りについて『そうですか』とは了承できない。町民の皆様に期待されてこの場にいるのに申し訳ない。図書館と体育館の整備に優先順位は付けたくない。こうなれば複合施設にしてほしい。複合施設になっても体育館は新しくなるので、コンパクトにして複合的に整備することはできないのか。
- ② 図書室のソフト面の充実について、子どもや、図書室に関する活動をされている方のご意見を聞く場を作っていただきたい。
- ③ これからの公共施設は住民と育てていくものである。それを行政がサポートしなければ施設自体が活用されなくなってしまう。中長期的なビジョンでいつ頃整備されるのかという時期をご提案いただき、誰がソフト面を充実させていき、誰がスペースを作るのかということを示すべき。
- ④ これまで議論してきたものがある中で、より一層成熟させるため議論を保留するのではなく、ワーキンググループでも良いので、住民主体あるいは役場と共働しながら、できる取り組みについて議論を継続させていく方が良い。
- ⑤ 図書館を整備しないとなれば、今後は「体育館整備検討委員会」となるのか。図書関係として出席する委員は今後どのような立場となるのか。

### 【事務局回答】

- ① 学校へのエアコン整備や、中学校の長寿命化改修によるコスト増加が非常に多く見込まれる中、優先的に進めなければならない事業が多い。現在の体育館は老朽化が著しく建て替えを優先的に考えている。図書室や社会福祉協議会は別の場所で対応していくべきだと考えており、複合施設化も理解できるが、振り出しに戻っての議論となるとスケジュールが遅れてしまう。実現性という点から大変難しいということをご理解いただきたい。
  - ② 現在の図書室については、本町地域センターの移転も含めて検討していく。その中でソフト面はどういったことができるかアイデアをいただきながら進めてまいりたい。
  - ③ 図書館については一度保留し、スケジュールは今の段階で提示できないが、図書室を今後どう進めていくかも含め、建設議論再開時にはスムーズに動けるよう準備を重ねてまいりたい。
  - ④ 基本コンセプト及び機能等が、現在の内容で決定で、今後図書館の検討をしないということではない。今後の検討の場やソフト面も含め、継続してご意見をいただきたい。また、今後ワーキンググループを作り、ソフト面充実の内容などを幅広く議論を重ね、現在地からの移転の際には改めて報告させていただきたい。
  - ⑤ 当初委員を選定する際は、図書館及び体育館の立場等を考慮してきたが、これまでの委員会でもそれぞれの分野に限らず幅広い意見をいただいていた。引き続き検討委員として出席いただきご議論いただきたい。
- ソフト面を含めて今後検討していく中、また時代の情勢によって必要な機能は変わる。整備を進める際はブラッシュアップしていきたい。まずは今時点のコンセプトにご同意いただきたい。（委員、異議等なし）

## ■ 体育館の建設候補地について

※優先順位…1位：Ⅲ(見晴公園)案、2位：Ⅰ(文化の森)案、3位：Ⅱ(文化センター隣接)案

### 【Ⅲ案への賛成意見】

- (体育館の駐車場が少なく) 役場から現体育館へ行くために、子どもたちが道路をそのまま横断しており危険だ。見晴公園に整備すると(体育館の近くに駐車場が整備されるため)横断する数は減るのではないか。
- 今回の能登半島地震を踏まえ、これからは避難場所という観点でも考えていく必要がある。立地条件から見ても役場やグラウンドが近くにある見晴公園が良いと思う。

### <懸念事項>

- ① 文化の森について、杉林の伐採は町民に十分に配慮して進めていく必要がある。
- ② 見晴公園は花見や紅葉狩りのほか、近隣保育園の子供たちにも利用されており利用価値がとても高い公園である。
- ③ 見晴公園を潰した場合、木を移植して新たに公園を整備する必要がある。そうなればまた費用を要してしまう。

### 【その他】

- 大人の目が届かないことのないような整備をお願いしたい。新しい施設は子どもも大人も通う人数が多くなると思われる。子ども同士で安全が保たれる仕組みづくりや、近所の方が優しく見守るような配慮をお願いしたい。

### 【事務局回答】

- ① 文化センターと歴史館は元々、文化の森というコンセプトのもと整備している。文化の森がランドマーク的存在であり、その伐採した杉を建材として活用することは理解されると思うが、全部を伐採するとなれば話は変わってくる。現在の杉林の状態について、9割が健康な状態ではあったが、強風により森林内での倒木も認められることから、今後の状況を見ながら様々な意見も考慮しつつ、できれば杉林を残す方向も含め検討いただきたい。
- ② 見晴公園への整備についても様々な意見があることを理解しているが、公園内にも古い木がたくさんあり、役場通り沿いの木も高く伸びている。公園内設備の老朽化もあり、大きな意味で改修の時期が来ている。
- ③ 樹木については重要なものもあることから、移植可能なものは移植し、設計検討時に配置を変えることで緑を残すことも出来るのではないかと考えている。

## ■ 体育館の機能について

- メインアリーナへ下りることができる利便性のある階段を設置してほしい。
- 女子選手が多く利用することもあるため、女子トイレ(便器数)を増やしてほしい。
- 多目的室には収納できる物品庫があれば非常に便利。